

【1－1．概要説明】

- レジにおける会計作業の結果を閲覧できるようにする

【1－2．画面レイアウト定義】

会計ログ						
商品ID	商品名	カテゴリ	売価	個数	売上金額	時間
xyz001 (1)	チョコレートクレープ (2)	クレープ (3)	200 (4)	1 (5)	200 (6)	2013-09-18-1:48 (7)
xyz002	いちごクレープ	クレープ	190	1	190	2013-10-25-9:36

【1－3．画面項目定義】

番号	項目名	項目名（英字）	属性	型	桁数 (Byte)	I/O	必須 チェック	入力制限					表示形式 (編集仕様)	DBアクセス	対応テーブルカラム	詳細
								かな	カタ カナ	英字	数値					
(1)	商品ID	prodIdLabel	label	-		O	-	-	-	-	-	-		(1)	商品ID	商品IDを出力
(2)	商品名	prodNameLabel	label	-	-	O	-	-	-	-	-	-		(1)	商品名	商品名を出力
(3)	商品カテゴリ	categoryLabel	label	-	-	O	-	-	-	-	-	-		(1)	商品カテゴリ.カテゴリ名	商品カテゴリ名を出力
(4)	売価	priceLabel	label	-	-	O	-	-	-	-	-	-		(1)	売価	売価を出力
(5)	売上個数	countLabel	label	-	-	O	-	-	-	-	-	-		(1)	販売数	販売数を出力
(6)	売上金額	amountLabel	label	-	-	O	-	-	-	-	-	-			[[計算]]	売価＊販売数の値を出力
(7)	時間	timeLabel	label	-	-	O	-	-	-	-	-	-		(1)	時間	購入時刻を出力

【1－4．入力パラメータ】

なし。

【1－5．イベント詳細定義】

			P T実施結果記入欄					
No.	イベント／条件	処理内容	実施日	結果	実施日	結果	実施日	結果
1	自画面表示時	<p>【検索処理】</p> <p>1. 商品管理テーブルを検索する (1-6.DBアクセス(1)参照)</p> <p>2. 商品テーブルを検索する (1-6.DBアクセス(2)参照)</p> <p>3. 会計ログテーブルを検索する (1-6.DBアクセス(3)参照)</p> <p>4. 商品カテゴリテーブルを検索する (1-6.DBアクセス(4)参照)</p> <p>【Servlet側での処理】</p> <p>1. ログイン中の団体IDを元に【検索処理 1】を行う。 検索結果はArrayListに格納する</p> <p>2. 1で取得した商品IDを使い、【検索処理 2】を行う。 検索結果はそれぞれ変数に格納しておく</p> <p>3. 1で取得した商品IDとログイン中の団体IDを元に【検索処理 3】を行う。 検索結果は変数に格納しておく</p> <p>4. 2で取得したカテゴリIDを元に【検索処理 4】を行う。 検索結果は変数に格納しておく</p> <p>5. 3で取得した値（商品の販売数となる数値）と2で取得した売価と計算し、売上金額を変数に格納しておく</p> <p>6. 1～5までで取得した内容から、テーブルの行を生成し、jspへ受け渡す</p>						

【1-6. DBアクセス】

(1)商品IDマッチング

取得カラム名
商品ID →ArrayList [productIdList] を準備し、繰り返し格納していく
検索対象テーブル名
商品管理
検索条件
商品管理.団体ID = [ログイン中の団体ID]

(2)商品検索

対象カラム名
商品名、カテゴリID、売価
検索対象テーブル名
商品ID
検索条件
商品.商品ID = [順次繰り返される商品ID] AND 商品.団体ID = [ログイン中の団体ID]

(3)販売数計算

取得カラム名
販売数、時間
検索対象テーブル名
会計ログ
検索条件
会計ログ.商品ID = [順次繰り返される商品ID] AND 会計ログ.団体ID = [ログイン中の団体ID]

(4)カテゴリ名検索

取得カラム名
カテゴリ名
検索対象テーブル名
商品カテゴリ
検索条件
商品カテゴリ.商品ID = [順次繰り返される商品ID]